

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
<b>今回の案に反対とするもの</b>		
19	<p>説明によると通学区域見直しの一番大きな考えとして、望ましい教育環境の整備を図るとし、3つの視点をかがげているが、「1. 学校規模の適正化」では現時点で平成26年における新小校の生徒数は200強で他小学校に比べると著しく少ない。第2小学校の人数が著しく多いという事に関してすでに東寺方小に学区変更する生徒がいる為第1小学校よりも少なくなる。また広域的に考えると現在の既存地区3小学校(1、2、東寺方)及び愛宕新校の計画としているが愛宕新校に隣接する第3小学校に関しては何も触れられていない。おかしな話である。</p> <p>現時点での適正化の推進というのはまったくもって破たんしている話である。</p> <p>「2. 学校と地域の連携の強化」とあるが、現在の連携をいったん破棄にして、新たに連携を作るのにどうやって今以上の連携が強化できるのか？今ニュースになっている大津の件を見ても連携ができていないからあのような事が起こるのでは？そのような事を考えると今までの連携を破棄して新たな連携を作る為の具体案も何もないので連携が強化されるかどうかは甚だ疑問である。</p> <p>「3. 子供たちの安全の確保」とされているが、現時点でも緑道の不整備、不審情報の多いこの市で、そこに関しても具体案もないので、とりあえずつけてみました的視点に関して疑問である。そして説明会からも感じることは数字を自分たちの都合のようにいい解釈している教育委員会に信用はできません。少数意見を多数意見で説明をしていましたし。学校規模の適正化もあくまでも数の論理だし、そこには子供という視点が全くありません。このことで一番重要なのは子供たちであり、今後受けるであろう子供たちの精神的なケアも書かれていないで、愛宕新校の設備面しか出ておりません。また説明の中で学校移動に関して全体的で移動すればその点の負担も減るであろうと説明されていましたが、子供たち一人一人違うことを認識されていません。</p> <p>上記の理由によるこの案はまったく認めるわけにはいきません。廃案にすべきです。まずは最低限対象地域のすべての生徒にアンケートを事前にとるべきです。</p>	<p>1)について 平成26年度については、210人となっていますが、一斉異動により転籍いただければ、この人数は大幅に増加します。さらに、西愛宕小との統合により平成28年度からは300人を超える児童数となります。多摩第三小は、現在も適正な規模の学校であり、今後も児童数が増加傾向にあることから、今回の見直しの対象とはしていません。</p> <p>2)について これまでの連携を破棄することは考えていません。学校運営、青少年の健全育成を支えていただいている青少協などの団体とも調整しながら、学区変更がスムーズに実施できるように進めていきます。</p> <p>3)について 学区変更に伴う通学路の整備は必要であると考えています。特に、愛宕山緑地については通らなくてもよいよう、東愛宕中に新たな門を設置します。不審者情報については愛宕地区は平成22年度が1件、平成23年度が3件であり、他地区と比較して特に多いとの認識は持っていません。転籍を伴う学年の児童の保護者アンケートについては、実施いたしました。</p>
21	<p>まず、大反対！</p> <p>西と東の愛宕小をまず合併して学校選択してる人たちをちゃんと既定の指定校に転校させてください。それからでしょう。</p> <p>2小の児童数が多いのなんて今に始まったことじゃないでしょう。なんでこんなにたくさんの子供たちに不安やストレスを与えるんですか？</p> <p>2小でやっと少しづつでもお友達ができたころなのに。。。子供に転校になるかもと伝えてからすでにショックを受けています。子供への心のケアはどうしてくれるんですか。</p> <p>少なくとも私の住んでる住宅街はともたたくさんの子供たちが2小に元気いっぱい通ってます。学校が狭いとかもわからず楽しく通ってます。今がピークなだけです。あと3年もしたら中学生や高校生になる子が多くなります。世代が変わってます。</p> <p>学区変更はまだ先。。。いやしくていいでしょう。</p> <p>たくさんの子供の心のケアできないでしょう。</p> <p>通学路。。。トラックガンガン走る表の道危険です。</p> <p>人どうりのない一通ばかりの危険な裏道。。。どちらも通わせられないです。事故が起きてからじゃ遅いですよ！！</p> <p>簡単に学区を変えな！です。</p>	<p>東愛宕小までの通学路については、多摩第二小で通学路として使用していた道路を基本的に使用していくことで検討しています。表の道(和田中学通り)については使用せず、庚申塚通りなどに必要な歩行帯の整備をしていく予定です。この地区には一方通行の規制をしている道路は存在しません。</p>
27	<p>多摩第二小学校・新東愛宕小学校、和田中学校・東愛宕中学校の通学区域の変更の全てに反対します。</p> <p>そもそも東愛宕小学校と西愛宕小学校の統合が平成28年度なのに、何故それに先立って平成26年度に多摩第二小学校の通学区域の変更がされるのか？理解出来ません。当初は早ければ平成26年度と言っていた通学区域の変更も、こんなに住民から反対意見があるにもかかわらず無理に押し進められようとしています。 原案には「学区域変更と学校統合を同時期に実施することによる児童への影響が大きい」等と無理やりな理由がつけられていましたが、統合の順番が逆だと思えます。先に東愛宕小学校・西愛宕小学校が統合し、その後二小の問題に取りかかるべきではないですか？二小が建て替えをする都合上、先に通学区域の変更をしてABCD地域を追い出そうとしているようにしか受け取れません。二小の建て替えもABCD地域を抜いた人数しか入れない設計にしているのですか？！</p> <p>数年前に竜ヶ峰小と統合してさらに二小の人数を増やしておいて、今さら二小が増えすぎたからと元々二小の学区に住んでいた子ども達を別の学区にするなんて酷過ぎます。そんな事が分かっていたら竜ヶ峰小との統合にだって沢山の反対意見が出たはずですよ。</p> <p>強制転校も絶対に反対です。何故二小に入学した子ども達の一部だけが強制的に転校させられなければならないのでしょうか？強制転校による子ども達や保護者の不安や精神的負担は計り知れません。 教育委員会の皆さんにお子さんはいらつしやらないのですか？自分の子どもがこんな形で風評の悪い学校に転校させられる事に納得出来ますか？二小の子ども達や保護者は誰も賛成していません！せめて自分の行く学校は自分たちで選ばせて下さい。</p> <p>勝手に決めた経過措置で線引きするのではなく、もう二小に入学してしまった子供たちに、学校を選ぶ権利を与えて下さい。学校の人数合わせのためだけに大切な子ども達の将来を決めないで下さい。</p>	<p>多摩第二小の校舎建替えについては、学区変更後も一定の児童数の増加の可能性もあることも考慮し、現在の学級規模と同等程度の学級数が収容できる規模で設計していく予定です。</p> <p>竜ヶ峰小との統合以前から、多摩第二小についてはさらなる見直しが必要であると考えていたものであり、竜ヶ峰小との統合により、今回の見直しの話があがったものではありません。</p>

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
33	<p>今回の通学区域変更は絶対に反対です。                      そもそも、1学年4クラスがそれほど大規模校なのですか？ 今は少子化になっているため、確かに二小は他の学校に比べて人数が多いかもしれませんが、私の子供の頃は今より1クラスの人数が多くて、4クラスが普通でした。                      さらにはこの先、本当に二小の人数は増えるんですか？ 出されている資料を見ても、この先児童数は減少傾向になっています。空き地が多いとは言っても、今いる生徒はほとんど卒業していくわけですから、今以上に増える可能性が高いんでしょうか？                      愛宕地区などは児童数の増加が見込めないということであれば、統合して、通学区域を変更しても、本当にこの先複数数学級を維持できるのかはかなり疑問です。現に、3年生は26年度には複数数学級になりませんよね。                      これは5月の意見交換会ででもずいぶん出ている意見ですが、そんなに少人数の学校が問題なのであれば、やはり第三小学校と愛宕を統合することを考えるべきだと思います。                      また竜ヶ峰の統合の時に問題になっていたようですが、通学路の整備などを要望しても、なかなか先に進まない。二小の建て替えも何度も何度も要望して、署名を集めて、といったことまでしないと、動いてもらえないのが現状ですので、この先強制的に通学区域を変更した場合も、また同じことを繰り返すわけですよね。通学路を整備すると言いつつも、結局は間に合わないということになるのが目に見えています。安全を確保できないような状況での通学区域変更はありえないです。整備してから通学区域を変更したいと話をしていただかないと、教育委員会の方の口約束は、後で言い訳をされるのが目に見えていて、全く信用できません。                      今、子供は落ち着いて学校に通っているのに、これが強制的に転籍とされた場合、万が一子供が不登校にでもなったらどうするのでしょうか？ 親も子供も辛い思いをして、子供の将来は？ 結局学校や、教育委員会は責任はとってくれませんよね。                      だったら、子供が転籍するのかしらないのか、選ぶのは子供や保護者であるべきではないですか？ 経過措置を広げると保護者が迷うから…という話がありましたが、迷うことがいけないことですか？ 入学した後いきなり転籍の話を持ち出して、有無を言わさず転籍させることが正しいことですか？                      もっと子供のことを考えて下さい。</p>	<p>多摩第二小の学区には今後住宅が建設される可能性の高い空地が多く存在しています。現在の推計では児童数が若干減少していく見込みですが、この数値には今後の住宅建設は反映されていません。愛宕地区自体は児童数が増加していく見込みがありませんが、今回の変更対象地区の児童は増加していく可能性がありますので、複数数学級を維持していく学校規模になると考えています。                      多摩第三小は適正な規模の学校であり、また、校地が狭く、愛宕地区の児童を受け入れる施設規模にないことから、今回の見直しの対象とは考えていません。                      竜ヶ峰小の統合の際の約束として、中和田通りを拡幅し、歩道を整備し、通学上の安全を確保するというものがあります。これについては、現在も地権者との買収交渉を進め、整備をしているところですが、完了しているのは全体の3割程度となっています。沿道に住宅が建設されるなどにより通学上の安全確保が図られるまでの間は、路線バスによる通学を認め、バスの定期代を全額補助するとの約束に基づいて、現在も補助を行っているところです。</p>
37	<p>ちょっと計画に無理があるのでは？                      説明会にも出たが、一度目の計画と大幅に変更してきたり                      役所に都合の良い話ばかりを繰り返すなど、不信感でいっぱいだ。                      また、教育委員会?で決定するということだが、なぜその教育委員を説明会にひとりも出席させないのか。説明会の意見が本当に伝わっているのが疑問だ。                      そもそも、山の上の愛宕と和田の子供たちを同じ小学校に通わせることに無理を感じる。                      愛宕地区を救済するために和田の子供たちが犠牲になっているような印象だ。                      私の子供は現在小2だが、去年一年間、毎日学校の門まで付き添って行っていた。大変だったが、慣れるまでのことだし、私が行くことで子供が安心して通えるならそれでいいと考えていた。それでも学校では友達とトラブルになったり色々あったようだ。                      2年になり、クラス替えもなく幸い担任も変わらなかったため、やっと慣れて、一人で行かれるようになった。放課後友達と約束をしてきて遊べるようになったのも2年になってからだ。                      しかし、4年で転校となった場合どうなるか。                      親が付き添うだけで安心して学校に行かれるか。転校して1年でクラス替えとなり、すぐ宿泊を伴う学外行事がある。難しい年齢でもあるし、非常に不安を感じている。                      もちろんABCDエリアの子供全員がこうではないだろう。つまり色々な子どもがいるわけだから、それに対応してほしいということだ。                      現在2小に通っている子供たちが、希望すれば中学3年まで転校しなくて済むような保証をするべきだ。                      何年も放ったらかしにしてきたくせに、急いで計画を進めようとする意図が分からない。なにか役所の都合があるのか。                      歩いて5分の所に中学があるのに、そこへは通えず、山の上まで安全とは言い難い通学路を時間をかけて歩いて通わなければならないのは納得がいかない。                      ついこの前まで自由に学校を選べたのにとんでもない差だ。                      隣接した小学校というフレーズを説明会で繰り返していたが、ABCDの住民はそう思っていない。とにかくこの計画は強引過ぎた。ABCDの子供たちに何のメリットもない。賛成できない</p>	<p>5月の意見交換会でお示した内容は、計画として決定したのではなく、その時点で検討していた案として、意見をいただくためにお示したものです。                      7月の説明会で初めて計画(原案)としてお示しいたしました。                      7月の説明会でも、教育長が教育委員として出席いたしましたが、9月1日に行なった保護者説明会には、教育委員5名全員が参加して、直接、保護者の方のご意見をお聞きいたしました。                      今回の見直しは、愛宕地区の学校の小規模化の課題を解決するのとともに、多摩第二小の大規模校化を抑制していくという課題も解決していくために行なっています。</p>

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
49	<p>&lt;基本姿勢&gt; 基本計画に反対 &lt;本文&gt; 1 市長を交え、各地域を交えた意見交換会の設置要望 異なる4箇所の意見交換会に参加させてもらったが、各地域で意見、反応が異なっている。それぞれの立場で意見交換会を市立体育館などで一括で行えないか？市長他、今回かかわる人々をすべて交えた議論の場を用意していただきたい。収集がつかなくなる可能性もありますが、絶対に必要であると思います。 2 本計画と多摩第三小学校の飽和状態への対応についての質問 民主党の政策により最大40人学級→35人学級への編制が急務となっている。多摩第三小学校は、各学年2学級程度が許容範囲の学校であるとの説明があったが、6年後の推計を見ると飽和状態に陥る可能性が高い。このことを考慮すると、多摩第二小学校の学区変更よりも、多摩第三と愛宕地域を統一し、現在の東愛宕小にすることにしたら疑問はない。なぜ、このような議論が一切出てこないのか？回答いただきたい。 3 統合新校は、向こう20年間はつぶさない旨の確約 第二小学校は、土地買収も含め、多額の予算を計上して建替工事をする予定であり、中期的に(少なくとも20年以上は)存続が約束されていると言ってよい。しかしながら、今回の説明会において、在校生も第二小学校から統合新校へ異動してもらいたいが、新たな小学校の存続は将来的に約束できない趣旨の発言があり、大変失望した。時勢の流れとはいえ、何ゆえ、廃校になる可能性のある学校へ我が子を行かせねばならないのか。可能であれば廃校になる可能性の無い学校へ行かせたいのが親の気持ちである。抜本的な対策を打てない教育委員会の対処療法の一環として、なぜ我が子を犠牲にしてまで、そのような学校へ行かせねばならないのか。このような親の気持ちは分かっていただけではないものであろうか。本計画を立案する方々が、自身の小学校が廃校になる気持ちを勘案していただければ、安易に異動して欲しいことはいえないはずである。正直、当事者は、「犠牲になってくれ」と言われている気がしてならない。この意味で断固反対したい。今の教育委員会の対応・質問に対する反応を見ていると、統合新校は、将来的に無くなることは既定路線と思えて仕方ない。そうでないのであれば、少なくとも20年間はつぶさない旨の確約を市長等の名において、宣言していただきたい。地域に歪みを残すことにもなる。</p>	<p>1)について 9月1日に教育委員、学校長、市議会、青少協の会長による説明、参加した保護者による意見交換、発表をしていただく会を開催いたしました。 2)について 多摩第三小は、現在、適正な規模の学校であり、今後も適正な規模が維持されていく見込みの学校です。3年生以上の学年を将来的に35人で編制していくという話が出ていますが、詳細が決定したものではありません。そのような中で、学校規模に大きな課題のない学校を廃止するという計画については考えていません。 3)について 新たな小学校の存続を約束できない旨の発言をしたつもりはありません。現在の推計は、6年先の児童数・学級数までを見込んだものであり、その先については具体的な数字をもっていないという旨の回答をいたしました。その意味では、どの学校も今後いつまで存続できるかを確約することはできません。しかしながら、愛宕新校については、来年度大きな予算をかけて施設の全面改修を行う学校であり、ソフト面でも教育環境の整備を図っていく学校ですので、将来的にも存続していくべき学校として捉えています。</p>
	<p>4 通学路の配慮、および治安向上計画の提案と愛宕地区軽視の是正に対する配慮のお願い 愛宕地域は、人通りが少なく、極めて死角が多く、女兒をもつ親として大変不安を持っています。愛宕緑地は、薄暗く、愛宕公園は遊具も少なく、子どもの声がかたがた(凸凹が激しい、アスファルトはツギハギだらけ)、路肩の雑草はいつまでも処理されず、はげたり、折れ曲がったガードレールが十年近くそのままになっています。このような、明らかに差別的な扱いを受けている地域に子ども生活の拠点を置くことを強制させられるのは大変遺憾です。 5 妊娠期間からの配慮が足りなさすぎる点についての苦情 多摩市で子を生みました。現住所に家を買うまでは近所(百草)に住んでおり、妻の妊娠期間、多摩市主催のパパママ学級ということで、聖蹟桜ヶ丘の健康センターや東寺方児童館でママ友達をつくり、東寺方サミットを中心としたコミュニティを形成してきました。現在通わせている幼稚園では、クラスわけも、バスのコースも学区を考慮して組んでくれています。我が子もだれだれとだれだれちゃんとは第二小で一緒なんだよねー。と言っていたのですが、今回5月に知った急な便りで、その小さな子どものつながりが小学校で切れてしまうようです。 学区を変更するのだったら少なくとも6年前から調整、宣言しておいてくれればよかった。東寺方サミットの周りで完全にコミュニティができあがってしまっているのに愛宕の方の状況はさっぱりわからず、今回の一件ではじめて愛宕近辺を歩きはじめたくらいです。そして、絶望しています。このようなことなら、今の家を買わなかったです。(私の人生を返してほしい) 私は多摩第二小学校への学区であることを念頭に3年前に現在の家を購入しました。女兒を持つ親として交通事故にあわないように、そして治安面も考慮し、一本道で学校へ行けることからです。この辺がただでさえ不便な立地であることを承知の上です。 今回の学区変更は地域を巻き込んで大きな反発があり、大きな問題となっており、さらに統合新校は、二小に比べて、小規模校化することが教育委員会の基本方針のようです(記載されていませんが)ので、新校は人気がないことが容易に予測されます。このことから、おそらく、将来的に資産価値は下落するものと推定しています。かなりの精神的苦痛を感じています。 6 第三者機関、委員会を使った根本的な原因究明のお願い 西愛宕、東愛宕の両方で1クラス学級が続いていた問題は、10年近く前からあったということが、今回の説明会の質問者からの意見が出ていました。さらに住民台帳などを見れば、10年以上も前からこのような生徒数の格差が予測出来ていたにもかかわらず東愛宕小や西愛宕小の惨状(生徒数の格差、男児2名のクラスの存在)を長期にわたって看過していたことを反省している姿が見えない点は、大きな問題であると考えます。その上で、その場しのぎの対策をうっているようにしか見えません。このような状況を作り出した原因をあぶり出し、市自体のシステムや根本原因を精査した上で今回の提案がなされるべきであると考えます。さもないと、また同じような事態が発生することが懸念されます。私は、原因究明のプロジェクトを立ち上げていただきたいと思えます。</p>	<p>4)について 愛宕地区を含めて、ニュータウン区域にはご指摘いただいたような課題があることも事実ですので、ニュータウン再生の問題については市全体で取り組んでいく必要があると考えています。しかしながら、愛宕地区だけの環境整備が著しく遅れていることはありません。ご指摘の道路やガードレールの件については、場所が特定できませんが、東寺方3丁目の集合住宅脇の道路については、所管課に伝えており、早急な対応を依頼しています。東愛宕小までの通学路の整備についても、学校、警察、道路所管課と点検しました。今後、必要な対策を行っていく予定です。 5)について この地区については、平成17年に「多摩市立小・中学校の一定規模及び適正配置等の基本方針」を策定した時点から、見直しが必要な地区として位置づけていました。この見直しがこの時期まで遅れてしまったことについてはお詫びしたいと思います。しかしながら、これ以上課題解決を先延ばしにすることはできないため、できる限り早期に実施できる時期として、平成26年度から実施していきたいと考えています。 6)について 愛宕地区の小規模化の問題は確かに10年ほど前から全学年が単学級となった時点から発生しています。さらに小さな規模であった竜ヶ峰小の課題を最優先して取り組んできた結果、課題解決にこのように時間がかかってきてしまいました。このような状況を早期に解決し、また、多摩第二小の大規模化を抑制していくことも並行して行う必要があると考えています。多摩第二小、愛宕地区につくる統合新校をできる限り平準化していくことで、双方の教育環境を向上させていくための見直しであり、安定的に両校が存続していくために必要な見直しであると考えています。</p>

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
<b>今回の案に反対とするもの（主に一斉異動方式の経過措置に関するもの）</b>		
1	<p>多摩市の教育委員会としては、市内の生徒に平等に教育を受けさせたいことはわかりますが、4年生までを多摩第二小学校で過ごし、兄弟が経験している「運動会」や「学芸会」を自分も行えることを楽しみにしている子を、いきなり市の方針という理由で転校させ、特に楽しみにしている6年生の学芸会が出来ない事になってしまうのは可哀想な気分です。</p> <p>また、東愛宕小学校側はいきなり倍数近い生徒が増え、クラス数も増え、おそらく授業の形式も今までとは比べ物にならないほど一人一人への対応が出来なくなる事については何も考えていないのでしょうか？ソフト面での対応も考えているようですが良かれと思ったことが返ってあだになりイジメを増長することになってしまわないかと危惧しています。</p>	<p>今回の通学区域の変更にあたっては、「一斉異動方式」を採用しています。これは、今回見直しの対象としている学校、特に小学校には、大きな規模の格差があり、これが教育環境上大きな課題をもたらしていることから、できる限り早期に学校間の規模の平準化を図っていくことが望ましいと考えるためです。</p> <p>「一斉異動方式」のメリットとして、この学校規模の格差を早期に解消できることに加えて、変更となるエリアの児童・生徒がみんなで学校を異動することで、これまでの近所での友人関係を維持しやすいこと、上級生から下級生までと一緒に異動することで、通学時の安全確保なども図りやすい点などが挙げられます。</p> <p>多摩第二小学校については、平成23年7月に実施した、全小・中学校の保護者を対象とした「今後の通学区域のあり方等に関するアンケート」でも、愛宕地区との通学区域の見直しを要望するご意見を多くいただきました。</p>
2	<p>先ほど説明会に行きましたが、在校生への経過措置のいきなりの変更はひどすぎます！！</p> <p>指定された学校に入学したのに、子供もその学校にずっと通うことを希望しているのになぜ無理やり転校させるのですか。希望により現在籍校に在籍できるに戻してください。もしくはやむを得ない理由に「子供本人の意思」を入れてください。どうしても納得できません。強制させられた転校をどうやって子供に説明しろというのですか。市役所の知らない大人が勝手に決めたから、と説明しろということですか！！</p>	<p>現在の多摩第二小学校は、施設規模を上回る児童数・学級数を擁していることから、教育環境としてのいくつかの課題が挙げられます。特に5年生の一部のクラスは、トイレ等の設備がない階の教室を使用せざるを得ない現状にあります。校内での児童同士の衝突事故、運動会や学芸会などの行事運営での困難さ、教室数が足りないために少人数指導ができていないなどの課題があります。加えて、多摩第二小学校は、平成26・27年度に校舎の建替え工事を予定しており、この工事期間中は現在の校庭が使用できなくなり、周囲の公園や施設を利用しなければなりません。</p>
4	<p>(第一部)</p> <p>第2小学校の説明会に参加させていただきました。</p> <p>前回の意見交換会から内容がだいぶ変わり、エリアが広がっただけでなく、経過措置の範囲がだいぶ狭まり、結果、子ども本人や親の希望に関わらず転校を余儀なくされる子が多く出ることに納得できません。</p> <p>5月の意見交換会で二小の多くの保護者がエリアについてはABである、またその中でも経過措置が取られるという認識だったことが教育委員会はわかっていたはずですが、その後の意見交換会で教育委員会の考えが変わったことは、二小の意見交換会だけに出た保護者にはわかるはずありません。</p> <p>以前にも寝耳に水という状態はやめてくださいとお願いしたことがありますが、今日の説明会がまさにそれです。</p> <p>二小建替えのワークショップから今回に至るまでの様々な説明会で、「前回と話が違う」「いきなり方向転換している」と感じるが多々ありました。情報を公開しなければ、不信感が芽生えるという事実を忘れないでいただきたいです。</p> <p>(字数オーバーになるため、もう1件投降させていただきます)</p>	<p>他方、東愛宕小学校、西愛宕小学校が両校ともに全学年単学級の小規模校であり、クラス替えができないことなどによる人間関係の固定化、男女比のバランスがとれない、委員会・クラブ活動などが制限されるなど、小規模校であることに起因する課題も深刻ですが、今回の見直しは、大きな規模の学校・小さな規模の学校の双方に教育環境上の課題があることから、これをできる限り早期に解消しようとするものです。</p> <p>どちらか一方の学校のために行うというものではありません。</p> <p>このような現状をふまえて、見直しを実施するにあたっては、「一斉異動方式」をとることが望ましいと考え、説明を重ねてきました。この方式の実効性を高めていくためには、変更の対象となる地域の保護者の皆様のご理解、ご協力が必要となります。しかしながら、7月の説明会、パブリックコメント、9月の保護者説明会、保護者アンケートでは、当該地域の保護者の皆さんから多くの厳しいご意見をいただきました。</p>
	<p>(第二部)</p> <p>今日の内容のひとつであった一斉移動についての意見を申し上げます。</p> <p>現在、毎日二小に通っている児童を一斉に転校させるのは横暴と感じます。現5年生、3年生で兄弟関係にある児童が多いからです。</p> <p>今の3年生は、26年度に5年生となりますが、その時には兄弟が中学に進学しているため経過措置の対象となりません。</p> <p>しかし、その子たちは4年間という子どもにとって非常に長い期間、2年先をいく兄や姉を目の当たりにし、それを目指し、同じ立場になるのを楽しみにしながら過ごしてきています。</p> <p>5年生で転校させるのが、どれほどの精神的な負担を子どもに強いるのか、考えてのことでしょうか？</p> <p>今日の説明会で出た、子どもの気持ちを考えていない、という意見に同意します。</p> <p>二小では春に運動会を実施しましたが、5,6年生の騎馬戦やリレーは迫力があり、とても印象的でした。応援団も昼休みを割いて一生懸命練習を重ねてきたおかげで、声も大きく胸が熱くなりました。</p> <p>練習時も含め、高学年のそんな姿を憧れの目で見ていた児童がいて、がんばりたいという気持ちも、愛校心もそこから生まれるのです。</p> <p>私にも3年生の娘がおり、二小を離れなければならないかもしれない友達がたくさんいます。小学校に入って仲良くなり、一緒に学び遊んで絆を深めてきた子たちが無理やり離されると思うと、本当に胸が痛みます。それ以上に、怒りを感じます。なんてかわいそうなことをするのだろうと。家に帰ってきた子どもが、楽しそうに話す学校の様子を聞かせたいです。(字数オーバーになるため、もう1件投降させていただきます)</p>	<p>この方式の実効性を高めていくためには、変更の対象となる地域の保護者の皆様のご理解、ご協力が必要となります。しかしながら、7月の説明会、パブリックコメント、9月の保護者説明会、保護者アンケートでは、当該地域の保護者の皆さんから多くの厳しいご意見をいただきました。</p> <p>教育委員会では、多くのご意見をいただいたことを受けて、「一斉異動方式」の経過措置のあり方等について改めて検討し直しました。多摩市では、昨年まで「学校選択制」を実施してきた経緯がある中で、一度就学した学校を変更するには保護者の意見を尊重する必要があることをふまえ、経過措置の中にある「やむを得ない理由」の範囲の中に、転籍することに対して、児童・生徒の今後の学校生活への影響があると保護者が判断する場合についても含めることとしました。</p> <p>これまでの経緯の中で、このような経過措置の内容となりましたが、保護者の方々が安心してお子さんたちを通学させることができるよう、新たな学校づくりを進めていきますので、地域全体の児童・生徒の教育環境を向上させていくために今回の見直しを実施していくことに対して、ご理解、ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。</p>

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
	<p>(第三部)                      東愛宕小の児童が少ないことは、そこに通う児童にとっては深刻な問題だという点は理解できます。ただ、東愛宕の生徒は急に減ったわけではないと思うのです。                      実際、すぐ隣の団地から越境して三小に通っている児童は何人もいます。その理由をまず探っていただきたい。逆に東寺方小学校は越境制度によって児童数が増えた年があると思いますが、その理由もきちんと考えていただきたい。児童数を増やしたいなら、魅力のある学校づくりが先決ではないかと思えます。子どもが通いたい、親が通わせたいと思う学校であれば、今日の二小の説明会で感じたような抵抗は圧倒的に少ないと思えます。                      何とか児童を動かそうとする教育委員会と、無理やり動かさせることにもものすごい抵抗を感じる保護者の間に、深い溝のようなものを今日は感じました。</p> <p>以上を踏まえた上で、強引に転校させることはぜひやめていただきたいというのが一保護者としての意見です。経過措置をきちんとつくり、二小に残りたいと希望する児童は全員、残していただきたい。26年度に入学する児童については、兄弟がいなければ原則を東愛宕とし、兄弟がいれば二小に通えるようにする。それと平行して、東愛宕小のソフト面を充実させることを、今すぐにでもスタートする。遠回りかもしれませんが、保護者が納得して選ぶことのできる学校に少しでも早くすることが、一番望ましいと思えます。本日の説明会資料には、東愛宕小のソフト・ハード面で実に素晴らしいことを予定していると書かれていましたが、そのひとつでも済んでいけば納得された方はいたかもしれません。                      お忙しいかと思いますが、ぜひ学区変更だけで手一杯と言わず、東愛宕小学校の充実を平行して(むしろ優先的に)進めていただきたいです。経過措置にかかわらず移動する児童が出るように。長文で申し訳ありませんが、3通とも続けて読んで下さい。</p>	
5	<p>僕は転校したくありません</p>	
6	<p>5月と昨日の意見交換会と説明会に参加していたのですが、そもそも、愛宕小中3校を残す意味はあるのでしょうか。その3校を既存の近隣校に振り分けてしまえばいいのでは。その方が維持費などの市の費用の削減にも繋がり、その分を他の学校をより良くするための費用に充てられるのでは。昨日、三小に東西愛宕を移すのは三小の保護者から同意を得られないだろうとの事でしたが、今現在、二小の在校生の大半の保護者からも全く同意を得られていない訳で、同じ同意を得られないなら、より子供たちに負担のかからない選択をして頂きたいです。保護者の同意よりその方が大切なのでは。だって、学校の主役は子供たちで、大事な成長過程の3年・6年という長い期間生活をしていく場なのですから。昨日の説明会で、上記のようにすると愛宕中の学区に元々三小も含まれているので、愛宕中の現状は変わらないような話もしていましたが、こちらも愛宕中の生徒を近隣の多摩永山中か聖ヶ丘中に移すことができるのでは。どちらも人数的に受け入れても5クラスまではいかないようなので。ちょっと遠いようなら、和田3丁目は今までどおり和田中の学区で、1中2小にならないからと言われるかもしれませんが、この先出生率から考えても子供が増えていくとは思えません。長い期間で見ると、先々統廃合が進む事もあるのでは。そうなった時にも1中2小なんて言っていられませんか。そんな枠を考えずにもっと柔軟に考えて、子供たちの気持ちに寄り添って考えてほしいと思います。</p>	
	<p>1000字では書ききれなかったので続きになります。                      それと・・・約40年前にも同じような事があった事はご存知でしょうか。その時も当時1年生で二小に入学したのに、一斉方式で2年生からは東愛宕小に移り、たったの数年でまた学区変更の話が出て6年生で再び二小に転籍させられたという事がありました。あの時も保護者にはほとんど決定事項の説明のみで保護者の反対も無視で強制的に一斉転籍になったと聞きます。                      (私の夫・夫の両親が当事者なので)                      友達が親切で優しくだったので、割とすぐにはなじめたようですが、それでも初めは戸惑い、付いていくのが大変だったようです。そんな経験をしている方たちが今、保護者となってこの地域に多く残っています。自分たちがそのような経験をしているので、自分の子供たちには同じような経験はさせたくないという強い思いがあるのです。そのような思いをした保護者の気持ちも少しは考えて頂きたいのです。二小側にはそのような背景もあるので、学区変更の同意を得るのは難しいと思います。</p>	
7	<p>在校生に対する経過措置が乱暴すぎます。                      なぜ希望により現在籍校に在籍することができるの項目がなくなったのですか。そもそもこの通学区の見直しは子供たちにとって望ましい教育環境の配備を図るためとしているのに、なぜ入学した学校から無理やり転校させるという負担を子どもたちにかけるのですか。                      本末転倒です！！子どもたちの気持ちをくんだ学区変更をしてください。なんのための教育委員会ですか。</p>	

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
8	<p>この原案は5月に行った意見交換会の意見をふまえていません。市の都合のいい意見だけを取り上げて、在校生への配慮を欠いています。経過措置の希望により現在籍校に残れるが消されたのはなぜですか。6ページ、学校統合を同時期に実施することへの児童への影響が大きいため東愛宕小と西愛宕小の統合は28年度とするとしています。</p> <p>統合と、無理やり転校させられるのとどちらが児童に影響が大きいかは考えるまでもないことです。無理やり転校させられることのほうが負担が大きいに決まっています。</p> <p>なぜ統合に対しては児童への影響を配慮するのに、転籍についてはまったく配慮されないのですか。何のための学区変更ですか。肝心な子供たちの気持ちをまったく無視しています。</p>	
9	<p>この原案の在校生への経過措置についての記述があいまいです。「やむを得ない理由により卒業まで原籍校への在籍を希望する」の、「やむを得ない理由」が説明会ではごくわずかな条件でしか認められないとされていました。この条件を公開せず、あいまいなままでパブリックコメントを求め、結果、在校生を本人の意思に関係なく無理やり転校させるのが、市の目論見ですか。</p> <p>子供たちの気持ちを軽視しています。やむを得ない理由に「子供本人の意思」を入れることを明記してください。こんな学区変更はあんまりです。</p>	
10	<p>現在、第二小学校の二年生の子供がいます。中学校からの学区変更はやむなしと思っておりましたが、小学校の途中で移る可能性があるということで、親子ともども不安を感じています。</p> <p>在学中の子供に関しては、学校を選択する自由をいただきたいと思います。一括で子供を動かしたほうが、行政としても楽で、様々なメリットがあるのはわかりますが、メンタルな部分を最優先に考えていただきたいと思います。</p> <p>在学中の子供に関しては、”すべての子供は希望すれば卒業まで残れる”で是非ともお願いします。</p>	
11	<p>多摩第二小学校の通学区の変更に伴う多摩第二小学校の分離について、生徒の立場を考えると強制的な対応は止めるべきと判断します。</p> <p>例えば卒業式を考えると、6年間の思い出などなくなり、5年生時に転籍した場合は新学校在学2年で卒業となり思い出も薄くなります。</p> <p>また、学業についてみた場合、中学年からは学習内容も複雑になり、重要な時期に学校環境の変化(合併ではなく分離)がある場合、学力を伸ばす妨げになるはずで、学習においても教師間による引継ぎについても提案事項に書かれておらず、無視されたものと判断できます。</p> <p>これらを考え、第二小学校の分離について取りやめいただくか、希望者のみ転籍いただくよう変更をお願いいたします。</p> <p>また、そもそもの第二小学校の問題としてキャパシティのことが問題と書かれていますが、それは第二小学校区域の住宅地開拓を今まで問題せず、学校校舎の立替などの見直しが遅れていることが根本原因のはずです。</p> <p>今一度、今回の問題と解決方法について、在校生、および保護者、近隣住民のことを考えた方針で進めていこうお願いいたします。</p>	
12	<p>教育委員会へはパブリックコメントで意見を送りました。市長のご意見をお聞かせください。今年2月ごろに、桜ヶ丘第一保育園の分園についてのお願いでFAXをお送りしました、高橋といいます。その際は、私の意見を一通り読んでいただき、そして一定の理解をいただき感謝しています。ありがとうございました。今回、もう一度お願いしたいことがあり、再度ご連絡します。</p> <p>私の長男は4月に小学1年生になり、多摩第二小に通っています。学校生活にも慣れ、毎日楽しそうに登校しています。友達もたくさんでき、クラスの子の名前を番号順の1番から順番に教えてくれるようになりました。ところが、私の住む和田地区は、多摩市教育委員会が計画する、多摩第二小・和田中の通学区変更の、計画区域になります。</p> <p>先日出席した計画説明会で、息子は平成26年に東愛宕小に突然の転籍することになると言われました。市は、「やむを得ない理由により、現籍校への在籍を希望する」としたものは卒業まで現籍校に在籍できるようにする、と言いますが、説明会では、その「やむを得ない理由」は、小学6年生、中学3年生の兄弟がいる場合・2人以上の兄弟姉妹が同一校に在籍している場合・東愛宕中には、在籍する部活動が存在しない場合というごくわずかな条件でしか認められないと言っていました。そしてこの経過措置は5月の意見交換会で出た意見をふまえたものだと説明していました。私はこの5月の意見交換会にも出席しています。5月の時点では、市は経過措置として、「計画区域の児童は、希望により現在籍校に在籍できる」としていました。ですから、私は長男は現籍校と新指定校のどちらの学校に行くか選ぶことができると思い、経過措置についての意見は述べませんでした。</p> <p>ところが、市はこの時に出た、「経過措置があることで保護者が迷うのでは」、「5年生以下は原則として転籍してもよいのでは」、という少数意見を主な意見として、7月の原案を、原則として転籍することに変えてしまいました。現籍校に残りたいという私たちの意見は全く反映されていません。残れると思っているのですから、意見交換会で残りたいと言う意見は少なかったことでしょう。市はそれを都合の良いように取り上げているとしか思えません。長男は卒業まで二小に通いたいと言っています。その長男に無理やり転校を強いる今回の計画原案に驚きました。指定された学校に入学し、本人もその学校への通学を希望しているのに、なぜ転校させられるのでしょうか。「子供たちにとって望ましい教育環境の整備を図る」ための計画で、なぜ子供たちが突然の転校という負担を負うことになるのでしょうか。どうか、経過措置として「希望すれば現籍校に在籍できる」に戻してください。もしくは、やむを得ない理由に「子供本人の意思」を入れてください。</p> <p>桜ヶ丘第一保育園の分園の希望を出した際には、竜ヶ峰地区には子供の保育ニーズがないと言われ、その竜ヶ峰地区を学区として含む二小の学区変更の際は、子供の人数がどんどん増えるので、一方的に出て行ってくれ、と言われているようです。悲しくなります。現籍校への通学を希望する子供が、現籍校に在籍できるようにしてください。どうかお願いします。</p>	

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
13	<p>子供が来年度小学校1年生になります。平成26年度に第二小学校と東愛宕小学校の学区を変更することですが、当地域からニュータウン地域の学区の変更は、児童にとって大きな環境の変化になり、大きな負担となります。まずは、同じニュータウン地域の西愛宕小学校との統廃合を実施するのが先であると思います。東愛宕小学校と西愛宕小学校の統廃合については、統合準備、交流事業等を行いながら数年かけて実施していくが、学区変更にはそのような措置が取られていない。いきなりの転籍は、しらない学校への転校に等しいです。転籍後の児童の心身のケアをどのようにしていただけるのでしょうか？いくら基礎学力の向上やESDの推進を唱えても、また教室の改修工事等を行っても、心のケアをして頂けないと保護者としては不安です。もし、転籍によって心身に支障をきたしたら、その時は責任をどのようにして頂けるのでしょうか？地図上で、線引きをし、児童数が増え学校規模の適正化がなされたとしても、児童本人が希望しない学校に行くことになれば、犠牲になるのは幼い児童たちです。児童の一生に関わる大きな問題として、もう一度考えなおして頂きたいです。</p>	
15	<p>CDエリアになります。小学校が東愛宕小で中学校が和田中ですが、現在二小に通っている子供達までも一斉転校させてしまう姿勢に憤りを感じます。子供の心理を考えてください。</p>	
18	<p>原案を見るまでは・・(怒)と、いろいろ考察できましたが、そもそも全学年一斉方式に大反対です。この原案は、兄弟枠の優先度が広い事で、同じ地域でも少数だけが転籍することになります。昨年、通学区の変更方式でメリット・デメリットを出していましたが、これだと全学年一斉方式でメリット(対象地区全体で、一時期に異動することで、コミュニティとしてのまとまりを維持しやすい)が明らかに崩れて、学年進行方式で出していたデメリットまで含まれています。26年度4月に小学校に在籍する兄弟がいなくても、現在の小学1年生、2年生に限っては、35人学級以下の制度の下、入学した子供たちです。二小に残っていても人数的な問題はありませぬ。でも、多感な3、4年生の年齢で動かされるのもこの子供たちなんです。多感な年齢に差しかかかったこの子供たちの間にイジメが発生したり、同地域での居場所が減ってしまうでしょう。そんな子供が本当にごく少数であることに目を向けてほしいのです。愛宕小を単学級から複数学級にすることが目的と言っておきながら、動く人数が少なければ、明らかに単学級です。もし、兄弟枠を付けるなら、6年生だけに割り切るとか、上の子が卒業したら転籍になるとか・・・全学年一斉方式などという子供そっこのけのやり方にするならば、異動する子供を多くしないと転校という辛い現実を受け入れる事は幼い子供たちにとって堪え難く、また子供の将来への過程としても良い事ばかりではない事をもっと良く考えて下さい。全学年一斉方式にしたなら、兄弟関係の問題が発生するのは当たり前です。いきなりの学区変更の線引きで、今小学校に在籍中の子供たちまで、動かそうとするのは間違っています。東寺方小の時と同じようにまだ入学していない子供たちからの対象に変えて下さい。たとえ兄弟がいたとしても、年の差の離れ具合によっては、下の子の入学の際に考え、選ぶ事はどの家庭でもできるはずですよ。</p>	
22	<p>現在 多摩第二小学校二年生の保護者です。計画では、現在二年生の場合、移籍するのは四年時ということになっていますが、幼稚園から小学校にあがって、やっと多摩第二小学校での生活や環境に慣れてきたのに、強制的にまた一からやり直させられるのは到底納得できない。子どもに与える精神的負担を考えていただきたい。現在在学中の児童については 個人の希望で残るか移籍するかを決めさせていただきたい。</p>	
23	<p>5月の意見交換会で、現在二小に在籍している生徒はそのまま残れるのか？という質問に、「無理に転校させることは考えていない」、「兄弟姉妹も卒業まで通える」ということでしたが、説明会では原則転籍になっており、「5月は素案で今回は原案なので」というばかりで、説明会で意見をしても変更はありませんという感じでした。それであれば、なぜ5月の意見交換会で転籍させる場合の意見を聞かなかったのですか？説明会では、急にC・D地区も対象になり、5月の意見交換会に出していないC・D地区の人の意見も聞かずに事を進めていくのですか？教育委員会から出される資料や、定例会の会議録を見ても、自分達に都合の悪い意見は参考にしてない・・・という印象を受けます。子供も転校は嫌だと言っており、意見交換会の後、「卒業までいられるよ」と話していたばかりなのに、今更やっぱり転校なんて言えません。子供を振り回すのはやめて下さい。また西愛宕との統合が28年度なのに、先に転籍だと急に新しい環境になって、さらに2年後にも環境が変わり、子供達はずっと落ち着かない環境になると思います。説明会では「何が何でも複数学級に」という感じでしたが、子供に「東愛宕の人数が少なくてかわいそうだから、あなたは我慢して転校するんだよ」と言えますか？嫌だと言っている転校を無理にさせて、それで平等ですか？ 人数調整したいからと、子供を駒のように扱うのですか？私も中学の時に、新しい中学校が出来たため、半分近くの生徒が転籍となり、辛い思いをした経験があります。その時は入学以前から分かっていたため、仕方がないと思いましたが、今回のように、入学した後で急に転籍と言われても納得できません。「時間がない」と仰っていましたが、こうなることは随分前からわかっていたはずで、今更「時間がないからすぐに」というのもおかしいです。『一斉転籍』を考えるなら、少なくとも入学する前から伝えておくべきです。また東愛宕を魅力的な学校にしようという努力はされたのでしょうか？ 明らかに東愛宕の方が家が近い人もいるのに、なぜ学校選択制で東愛宕の人数は増えなかったのでしょうか？ いくら近所の他の子が二小や和田中に通っていても、魅力のある学校であれば人は集まると思います。将来的に学区変更が必要だとしても、今回のやり方では納得できません。</p>	

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
24	<p>平成25年度に、第二小学校へ入学予定のこどもを持つ母親です。Dエリアに居住しています。今年度の初めに送られてきた入学案内では、第二小学校のエリアだったのでその心づもりでいたところ、6月に行われた二小の学校説明会で、なぜか突如、愛宕小に転校しなくてはならないエリアに組み込まれており、大変なショックを受けました。どうしてこんな重要なことを、住民の理解を得ないまま、ドタバタと決定しようとするのでしょうか。二小で入学式を行って、わずか1年後には出て行けと言うのは、幼いこどもにとって、心身ともに大変な負担となります。まったく納得できません。</p> <p>通学区域の変更というのは、学校統合と同じくらい、時間をかけて計画を練り、広く住民に説明し、理解を得て、じっくり煮詰めながら進めるものではありませんか？ 私の周りの保護者も、今回のドタバタな学区変更の件に、みな困惑し、憤っております。いったん、二小への入学案内を出しておきながら、来年には出て行きなさいよ、というのは、無責任としか言いようがありません。希望に満ちあふれて入学してきたこどもたちの、希望をつぶさないでください。入学した以上、責任をもって卒業までこどもたちを導いてあげてください。二小に入学したこどもは、すべて卒業まで受け入れてあげてください。経過措置は、すべて「希望者は卒業まで二小に在籍できる」とするべきです。</p> <p>以上、通学区域変更について、見直しを強く願います次第です。住民の理解を得ないまま拙速な決断をなさいませんよう、重ねてお願い申し上げます。</p>	
25	<p>(以前、別の所へメールしてしまったようなので、加筆修正して改めて送ります。)</p> <p>第二小学校と東愛宕小学校の学区を平成26年度に変更するとのことですが、当地域からニュータウン地域への学区の変更は、児童にとって大変大きな環境の変化になります。先ずは、同じニュータウン地域の西愛宕小学校との統廃合を実施するのが先であると思います。東愛宕小学校と西愛宕小学校の統廃合については、統合準備、交流事業等を行いながら数年かけて実施していくが、学区変更にはそのような措置が取られていない。いきなりの転籍は、しらない学校への転校に等しいと思う。交流を行いながら徐々に学区の変更を行うべきではないかと思う。お役所的には、地図上で線引きをし、一定規模になればOKかもしれませんが、転籍後の環境変化による児童が受ける心身のダメージについても真剣に考えているのでしょうか(不登校やいじめ問題等も含め)。そして心身のケアをどのようにしていただけるのでしょうか？いくら基礎学力の向上やESDの推進を唱えても、また教室の改修工事を行っても、心のケアをして頂けないと保護者としては不安です。また、当地域から東愛宕小学校へは、かなりの高低差があり幼い児童にとっては、身体的にかなりの負担となる。地図上での数合わせの線引きはやめてもらいたい。</p> <p>最終的に転籍に関しては、対象児童の気持ちを優先させるべきであると思う。</p> <p>児童の一生に関わる大きな問題として、経過措置等を含めもう一度考えなおして頂きたい。</p>	
26	<p>5月の説明会、6月の第二小学校の学校説明会でも「強制的に転籍させる事はしない、希望があれば第二小学校に残る事も出来る」と説明を受けていたが、今回の案ではゆむをえない理由(兄弟姉妹が在籍していない生徒は東愛宕小学校に転籍させるなど)がなければ転籍と言う大幅な内容の変更で大変驚いています。希望により第二小学校に在籍する事が出来る と言う以前の案に戻していただきたいです。何故なら一度入学した学校を途中で転籍させるのは親子共々大変な精神的負担がかかるからです。今の案の話だと 在校生に兄弟がいない子供達だけが転校になり、ABCDエリアを合わせても少人数が転籍するだけです。</p> <p>また兄弟姉妹がいる子達が第二小学校に残る事が出来たとしても近所の友人が一人っ子や長男長女の場合、周りの子供達は転籍しなくてはならなくなり、結果 兄弟姉妹がいるかないかで通学している学校が違うと言う複雑な状況になってしまいます。一部の少人数を動かすくらいなら今回の案は見送りして欲しいです。初めての小学校入学で分からない事だらけの保護者に入園後の転校は負担が大きいです。3年生に関しては強制転校したとしても東愛宕小学校はまだ1クラスの単学級のようなのですが、そんな限られた少人数だけを26年度に移動させる事に意味はあるのでしょうか？</p> <p>学区変更予定の26年度、もしくは西愛宕小学校と統合する28年度から徐々に話を進めていただく事は出来ないのでしょうか？予め入学前に学区が変更になっていれば学区指定の東愛宕小学校に入学と同時に通い始めると思うので、ゆくゆくは段階的に人数も代わっていくはずなので(28年度には西愛宕小も統合される)。</p> <p>もう少し長い目で学区の変更を検討して頂く事はできないのでしょうか？小学校に慣れはじめた低学年の子や慣れ親しんで愛着も学校に湧いてくる中学年の子達に、途中で転校させてまで26年度に東愛宕小学校に転籍しなくてはいけないのは あまりにも子供に精神的にも負担がかかり 可哀相だと思います。</p> <p>不本意なまま強制的に転籍させられた状態では保護者も快く 新しい学校に子供を通わせる気もおきず出来る訳もなく非常にわだかまりがあるままになると思います。</p>	
29	<p>今回の計画が実行された場合、わが子は5年生で転校することになります。5年生では移動教室、6年生では修学旅行と小学校生活の集大成の時期です。そういう行った行事も1年生からの積み重ねがあつてこそ楽しめるものではないでしょうか？</p> <p>教育委員会がこのような決定をされることに驚きを感じ本当に子どもの気持ちに沿い最良の考えで決定しようとしているのか疑問に思っています。そして以前に出席した説明会とは全く違った内容に変更されていることに対し、あれだけはっきりと転校はないと公言されていたにもかかわらずほんの数か月で変更されたこと、信用に欠ける態度です。わが子が市の強引な計画に巻き込まれているとしか思えません。子どもにも転校しなくていいんだって！とぬか喜びさせ、やっぱり転校と話した時、なんなんだよ！と混乱させてしまったことでさえ大人の責任のように感じます。引越してもいいのにこんな形で転校させられることは親子ともども受け入れがたいことです。子どもにとって多感な時期の転校はぜひやめていただきたいです。</p>	



パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
30	<p>通学区の変更及び学校統合は突然すぎると思います。子供のことを第一に考えたら、そのような措置をとることはできないと思います。対象地域に住む家庭に対し、学区変更のアンケートをとるとか、学区変更に対する考え方を聞くべきだと思います。数年の移行措置期間を設けるなどして、子供たちや保護者たちの意見を尊重すべきだと思います。卒業までは転籍はさせたくありません。</p> <p>家庭によって、転籍をのぞめばそれもいいかと思いますが、希望しない家庭に対しては転籍はするべきではありません。また、子供たちの意思を反しての転籍は子供たちを傷つけたいと思います。転籍しない子供たちからの心無い言葉に苦しむ子供たちも少なくないかもしれません。世間で騒がれているいじめにも発展しかねません。そういったこともふまえて市は検討を重ねるべきだと思います。結論を急げば急ぐほどいかなものか、、、と思います。心身ともに安定した学校生活を送るためにももう少し検討していただきたく思います。よろしく願いいたします。</p>	
34	<p>二小に通う二年生の親です。以前に卒業まで二小に残れるようにコメントを出しています。</p> <p>やはり、子供の気持ちを考え、転籍は絶対に避けたいと思っています。</p> <p>随時新入生から行っていけば、数年後には児童数が市のおっしゃる適正数になるのにどうして早急に進めなければならないのでしょうか？今までこの問題に数年もかかっているのですから、在籍児童をいきなり動かして混乱を招くのは絶対にしてほしくありません。また、やむを得ない理由があれば転籍はしなくてもよいという特例にも納得がいきません。特に兄弟姉妹が在籍している場合は優先度Bで転籍がまぬがれるというのは、不公平です。一人っ子や兄弟姉妹と年が離れている子供は有無を言わず転籍ということになります。友達や近所の子は兄弟姉妹がいるから免除で、いないから転籍というのは、親も子供も納得できません。反対です。特に、一人っ子や兄弟姉妹と年の離れている子供は、学校内では身近に知っている人が少ない、弱い存在なのに、もしもそのような時、友達や近所の子供たちとも理不尽に別れなくてはいけなくなることを考えると不憫なりません。市としての考えもわかりますが、子供の気持ちを一番に考え、”兄弟姉妹の有無に関係なく、すべての児童は希望すれば在籍できる”でお願いします。</p>	
44	<p>私は今般の案における通学区変更区域のB地区に住む小学校1年生と今年2歳になる子供の親であるが、件のABCD地区に住む保護者や児童の感情をまったくもって無視した、教育委員会の物事の進め方には、激しい憤りを覚える。5月時点での説明と7月の説明では、多くの重要な点が変わっており、このままの案で進めようものなら、保護者や子供達に対する“だまし討ち”もいところである。教育委員会の“あくどい収束の仕方”に断固として抗議する。</p> <p>5月「意見交換会」の時点では、「在校生は希望により卒業まで二小に在籍できる」「兄弟が在籍している弟妹も希望により二小に入学できる」、「変更対象はA B地区のみとする」ということだった。意見交換会に出席した私は、この内容であれば、在校生とその弟妹にも配慮した案であることからしても、概ね賛成出来る内容であった。であるので、意見交換会の場でも特に反対意見は言わなかった。</p> <p>ところが、7月「説明会」の段になると、「原則東愛宕小に転籍だ」「CD地区も対象だ」などと5月時点の案に比べ、通学区変更対象者にとっては、まったくもってひどい内容に変わってしまった。教育委員会の言うところの「皆さんの意見を勘案した結果」だというのが、私が出席した回の意見交換会では、そういった意見はまったく出なかった。学校規模の平準化を急ぐ教育委員会サイド、複数学級を望む東愛宕小、西愛宕小サイドにとっての都合のよい意見しか反映していない、著しく偏った内容である。</p> <p>今回の施策で、いちばん割を食う、損をするのは、二小に残る児童とその保護者、東愛宕小・西愛宕小の児童とその保護者、教育委員会のいずれでもなく、通学区変更対象となるABCD地区の人達である。今回の件で教育委員会がいちばんに理解を得なければならぬ「交渉相手」は、まさにABCD地区の人達であるにもかかわらず、その人達が到底納得することが出来ない内容で押し進めようとするのは言語道断である。</p> <p>対象地区をCD地区にも広げなければならないのは仕方がないとしても、すでに二小に入学し在籍している児童とその弟妹については、二小に残ることも選択出来るようにしなければ我々は、納得することは出来ない。今年二小に入学した息子は、二小のことが大好きで毎日楽しく元気に学校へ通っている。居住地はそのままなのに、転籍しなければならぬ、多くの友達と離れなければならない子供達の心情と保護者への負担に配慮するべきである。</p> <p>以上の理由により、原案に断固として反対をする。教育委員会の姿勢如何によっては、法的手段に訴える心づもりである。</p>	
45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供達の環境変化を一度にするため、「通学区の変更」は「愛宕地区の学校統合」と同時に行うべき！</li> <li>・現校での友達関係を崩さないように、現在の在校生は希望を優先させるべき！</li> </ul>	
47	<p>私の息子は今、二小の1年生です。つい2~3ヶ月前までは、今回の学区変更の境界線にギリギリ入らず、でも、いろんなうわさがあるので、私(母親)が直接市役所の窓口へ聞きに行きました。すると「今のまま二小で大丈夫で、下の子も上の子が通っているので二小で大丈夫」と言われ安心していました。ですが、今回の変更で愛宕の学区に入ってしまう、3年生の時には転校になってしまうと知りました。せっかく慣れて楽しく通っているのに、途中から転校なんて子どもも親も負担で、納得いきません。そこで、やはり学区に該当している生徒さんは選択制にすべきだと思います。強制的に転校は絶対にやめてください！本人の意思を尊重してほしいです。最初から(新一年生)東愛宕ならともかく、途中からは子どもがかわいそうです。中には希望される方もいらっしゃるでしょうから、選択制がいいと思います。お願いします。</p>	

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
48	<p>今回の原案について</p> <p>①現在、二小6年に子どもが在学中の保護者であります。原案によりますと、中学2年時に愛宕中へ転籍になるとのことですが、やむを得ない理由というのが、その家庭家庭においてまちまちだと思うのですが、すべての人が納得のいく様な定義を提示していただけますか？</p> <p>②中学2年というと、受験に向けて動き出す時ですが、そのような大切な時に転籍というのはどうでしょうか？</p> <p>③②に対して、ならば中学入学時から愛宕中に行かせることも可能です。と言われるかもしれませんが、現在、和田中へ通う姉がいるので、同じ学校に通わせたいのです。親の負担だけではなく、姉は中学3年になるため、姉の転籍は絶対に考えられません。</p> <p>④今回の学区変更には、二小へ通う子ども達の偏りもあるのでしょうか、地域性の確立ということもあると思います。その中で、一度入った学校で地域性が確立されてしまっている子ども達を新たな地域に放り込むというのはどうでしょうか？中学2年といえば、一番多感であり、問題も起きてくる年です。</p> <p>⑤中学転籍に関しては、制服の問題もあります。住民税など、税金や電気料金、いろいろと出費ばかりが増える中、新たに制服を買うというのは無理です。制服の違う子が混在する学校というのは、学校運営上、問題ありませんか？学校としてのまとまりが取れなくなると思います。</p> <p>⑥住所から見てわかるとおり、愛宕中に通うには愛宕の森を抜けて行かなければなりません、昼間でも薄暗く、部活が終わったあとなど、本当に暗くて不安です。京王ストアの横を通る道もありますが、やはり公園の中は人が少なく不審者情報等あり、愛宕中に転籍でしたら、明るい通学路の整備をして欲しいです。</p> <p>⑦和田中に入学し学区変更のために中学2年時に転籍しなければならない生徒はどのくらいいるのでしょうか？少人数であれば、転籍をしなくても良い様に思います。新しい学校になじめるかどうか不安です。いじめにあたり…今、問題になっていますよね。人数が多いのであれば、そのような多人数が急に異動となると、出してしまう和田中にも、受入れる方の愛宕中の方もいろいろと大変ではないでしょうか？</p> <p>以上、質問のような形で問題を示させていただきましたが、とにかく私としましては、中学2年生での転籍どうしても納得できません。親の思いを書かせていただいているのですが、子ども本人も同じ思いです。親の仕事の都合があったとしても、中学生の転籍は避けると思います。それなのに、市の方の案にこの様なことが盛り込まれるのはどうしてなのでしょう。二小の学区は、古くからのお家が多く、地域性の高いところですが、そこから、中学2年という年で新しい地域に放り込まれるのは、親としても、子どもとしてもとても辛いことです。</p> <p>このような意見を出して、返事がもらえるのか、転籍の案がなくなるのか、緩和をして頂けるのか…。私としましては、ぜひとも検討されたく、お願いいたします。上記の様な意見は多分中学2年で転籍と言われている皆さんが一緒に感じ、憤り、訴えている事であると思います。</p> <p>本当に、本当に、転籍は無くなる様にご検討、切にお願いいたします。</p>	
50	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p> <p>行政の都合よりも、子ども達の教育環境や心情を考えもらいたい。これが効率のためならば尚のことです。パブコメも結論ありきで、“やっただけ”もやめてください。</p>	
51	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p> <p>小学生の子どもにとって、友達で分かれて別の学校に転校することは教育上よろしくないことである。新しく入学する子どもからの措置とし、現在通学中の子どもには、卒業まで通い続けられるよう配慮されたい。</p>	
52	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
53	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
54	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
55	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
56	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
57	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
58	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
59	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
60	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
61	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
62	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
63	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
64	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
65	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
66	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
67	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
68	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
69	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	
70	<p>希望すれば現籍校に在籍できる経過措置をとって欲しい。</p>	

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
<p><b>主に通学区の変更方法に関するもの</b></p>		
16	<p>7日に行われた説明会に参加しました。説明された通りに小学校の通学区の変更が行われた場合、移動地域で2人以上多摩第二小学校に通っていない児童のみが転籍することとなり、地域内で通う小学校がばらばらになってしまいます。多摩第二小に通う子の方が愛宕に転籍する子よりも多くなると、転籍する子が人身御供になってしまったようなイメージを受けます。また、小学校の5年から転籍する子は、小学校時代の一大イベントとなる移動教室や林間学校を今まで一緒に学んできた仲間とは一緒に行えないことになりまます。転籍する子が哀想に見えないような処置(一斉に移動する、もしくは希望すれば転籍しなくても良い)をお願いいたします。</p>	<p>いただきましたご意見などもふまえ、通学区の変更に伴う経過措置のあり方については改めて検討し、「やむを得ない理由」に、「これまでの学校選択制の経緯をふまえ、現籍校から転籍することが当該児童・生徒の学校生活に影響が大きいと保護者が判断した場合」を加えました。</p>
17	<p>現在多摩第二小学校に5年生と1年生が通っていて、自宅は和田中学校の横のハートフルタウンです。この集合住宅地に二小の1年生は10名いますが、東愛宕小に3年生から全員転校になるのであればいいのに、特例措置を理由に二小に残りたいという家庭が半数いました。これではせっかく慣れてきた登下校も友達関係もばらばらです。他の地域でも特例措置で二小を希望する人が多ければ東愛宕小に転校しても2クラス以上にならないのではないのでしょうか？引越したわけでもないのに、まったく新しい環境に移されるわけで線引きをきちんと明確にしたいと思います。また、転校の際には、生徒だけでなく二小の先生方も学年1人は異動していただきたいと思います。転校させられるのであれば、子供たちの東愛宕小との事前交流を複数回設けて、学校内部や現在の授業参観もさせていただきたいと思います。ご検討のほどよろしくお願いたします。</p>	<p>通学区の変更に伴う「一斉異動方式」については、大変多くのご意見をいただきました。いただきましたご意見のように、変更の対象となるエリアの児童全員が転籍をしていただくことで、課題も早期に解決することができますが、これには保護者の皆さんのご理解、ご協力を得ることはできませんでした。今回の計画では「一斉異動方式」をとらせていただきますが、経過措置の中で、「これまでの学校選択制の経緯をふまえ、現籍校から転籍することが当該児童・生徒の学校生活に影響が大きいと保護者が判断した場合」には、現籍校に在籍できるようにいたしました。なお、いただきました具体的な提案につきましては、実施に向けた検討をしていきます。</p>
20	<p>現在の通学区を考慮し、住居を決めている場合がある為、通学区の見直しの指針が策定される前の平成23年度までに居住開始した家庭に対しては、平成24年度までの通学区の指定校にも選択して通える措置が必要だと思います。通学区見直しにより転籍した二小の児童が卒業した後の、愛宕地区統合新校が、将来、長期的に安定的に複数学級になる見込みがなければ、児童・保護者に負担をかけてまで転籍させる必要はないのではないのでしょうか？二小と東西愛宕小の児童数の差は、単に通学区の広さの差だけではないと考えられ、学習・生活面など、さまざまな面で、児童・保護者が安心して転籍できるような学校づくりを行ったうえで学区の変更をすれば良いのではないのでしょうか。指定校に通う二小在校生が、原則として転籍させられるのであれば、学校選択性により、愛宕地区から指定校以外に通う児童も、指定校に転籍させるべきだと思います。愛宕地区から三小へ通っている児童が多数いると聞いており、通学距離や人数・中学の通学区を考えると、三小と東西の愛宕小が統合するのが一番良いと思われまます。愛宕地区の児童数の増加の見込みが無いのであればなおさら、改修する東愛宕小を利用し、三小と統合する方法も検討するべきだと思います。全ての事に対する展開があまりにも早く、どうなるのか不安でしかありません。子供達のことを最優先に考え、全ての市民が納得のいく方法を考えていただきたいと思います。</p>	<p>通学区の変更に伴う「一斉異動方式」については、経過措置のあり方について改めて検討し、修正を行いました。東愛宕小において、保護者が安心して就学させることができる学校づくりを進めていくことは必要であると考えており、今回の計画とは別に、具体的な施策、実施スケジュールなどを「(仮称)ピア・サポート プログラム」として策定します。多摩第三小については、審議会(第3期)に諮問する際に、愛宕地区の見直しの対象校とはしないとの結論がすでに出ています。具体的な理由は、以下の3点です。 ①多摩第三小は12学級規模の学校であり、単独で適正規模が維持でき、学校規模での課題はない ②多摩第三小は校地が狭く、愛宕地区の児童を受け入れる施設規模はない ③大規模校化する見込みの高い多摩第二小の課題を解決する必要がある</p>
36	<p>1年生からの開始が良かったです。なぜ..今なのか？入学前、選択制度がありましたから、東愛宕小も検討し、抽選に申請することもできましたが、特に魅力ある内容がありませんでした。(手厚い教育になるかとも思いましたので、マイナス要素は小人数がポイントではありません。)今、まさに、2小が人数が多いという、その点での話しが市から聞こえてきません。東愛宕小に移動することがいかに魅力あることなのかをアピールしてもらいたいです。単なる、住居地区での人数の線引きでは、心ある児童を扱っているとはなかなか思えません。子供に話すと、やはり、渋い顔をします。もっと、中身を検討してほしいです。</p>	<p>通学区の変更に伴う「一斉異動方式」については、経過措置のあり方について改めて検討し、修正を行いました。東愛宕小において、保護者が安心して就学させることができる学校づくりを進めていくことは必要であると考えており、今回の計画とは別に、具体的な施策、実施スケジュールなどを「(仮称)ピア・サポート プログラム」として策定します。</p>
38	<p>26年度に下の子が3年生になり上の子が二小を卒業してしまうので下の子は愛宕小に転籍することになっていますが、転校したうえに単学級という望ましくない環境での小学校生活を強いられるのでしょうか。周りには兄弟のいる子が多く希望すれば二小に残れる子が多い中、人気の少ない通学路を通わせるのかと思うと不安で今の原案のままでは納得がいきません。下の子が入学前であれば選択もできたのに、既に入学してしまった子供達がいちばん犠牲になります。子供達のことをいちばんに考えた案であって欲しいと切に願います。</p>	<p>通学区の変更に伴う「一斉異動方式」の経過措置のあり方等については改めて検討し直しました。多摩市では、昨年末で「学校選択制」を実施してきた経緯がある中で、一度就学した学校を変更するには保護者の意見を尊重する必要があることをふまえ、経過措置の中にある「やむを得ない理由」の範囲の中に、転籍することに対して、児童・生徒の今後の学校生活への影響があると保護者が判断する場合についても含めることとしました。</p>

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
43	<p>平成25年度に1年生になる幼児と未就園児がおります。今回の学区見直し地域に居住しており、原案のままですと第一子は平成26年度の2年生より東愛宕小学校に転籍することになります。</p> <p>我が家の近所は、現在第二小学校に一人以上が通学している家庭がほとんどで、原案のままですと、兄弟姉妹関係で平成26年度以降も第二小学校に通学し続けることとなります。また、現在通園している幼稚園でも、上に兄弟がいる子がほとんどのため、対象地域であっても東愛宕小学校に通学する予定のお友達はほとんどおりません。我が子は人見知りか激しいため、小学校に入学した時の苦労を少しでも無くそうと思い、第二小学校に通学する予定の子供が多い幼稚園を選び、入園させました。今まで、「お隣の〇〇ちゃんや、幼稚園の△△ちゃんと同じ学校になるんだよ」と子供にも話して来ましたが、それが兄弟姉妹がいないという理由だけで、我が子だけ別の小学校になるというのは親としては複雑な思いです。</p> <p>地域のコミュニティを重視し、自治会の関係等も考慮された上で原案を作成されたということですが、今回の地域ごとの人数の集計結果を見てみると、兄弟姉妹関係で第二小学校に残る人数と東愛宕小学校に転籍(または就学)する人数はほぼ半々です。そのため、今後地域のコミュニティが維持されるかどうかと非常に不安を感じております。</p> <p>また、今回の学区見直しは平成26年度からのものであり、今から一年半後のことではありますが、平成25年度に入学する子供を持つ家庭にとっては、実質的には半年の猶予しかない状況です。(入学して一年後の転籍はさけたいと考えるご家庭がほとんどだと思います。)もう少し時間をかけて、決定事項を周知する期間を置き、段階的に変更する必要があるのではないのでしょうか？</p> <p>小学校の規模格差の解消のために、学区見直しを急がれているのは理解できますが、規模格差が始まったのはここ数年のことではないと思います。今まで長い年月、学区見直しを放置してきたため、愛宕地域の方々をはじめ、今回の学区見直し対象の児童やその保護者等一部の住民だけが重い負担を強いられるように感じられてなりません。</p>	<p>平成25年度に就学になる学年の児童・生徒につきましては、見直しを実施される前年に就学することになるため、不安定な面もあるかと思っております。</p> <p>ご意見でいただきましたように、同じエリアの中で別々の学校に就学しているという状況は好ましいものではないと考えています。その意味では、計画(原案)の内容には問題があると考えています。このような状況にしないために、皆さんに一斉異動への協力をお願いしたところですが、厳しいお答えでした。</p> <p>教育委員会ではこの課題をもっと早い段階で解決したいと考えていましたが、様々な経緯の中でこの時期になってしまいました。しかしながら、これ以上、見直しの時期を遅らせることはできないことについてはご理解いただければと思います。</p>
<p><b>主に通学区域を変更する区域に関するもの</b></p>		
39	<p>私はハートフルタウンの住人でD地区に該当いたします。</p> <p>二度目の意見交換会前にわざわざ郵送でC、D地区が外された内容の手紙が届き、安心してた矢先の原案の説明会が届き、騙された感が拭えません。いろいろ説明を聞いてると、原案通す前に、もう一度CD地区に対しては意見の発言の場を与えて、いただけなかったのでしょうか？遺憾に思います。</p> <p>CD地区の26年度に入学する子供たちが、和田中にいく人数9人に対して、二小からくる子は100人近いわけですよね？</p> <p>ハブにされに行けとおっしゃるのでしようか、今のいじめ問題が国をも対策に乗り出すのに、多摩市は逆を走って、行こうとされるとしか、思えません。何かが起こってからでは遅いのです。芽をつむべきことわ、種を蒔こうとしているように、思われます。</p> <p>今行われていらっしゃる、方々への責任の所存にもなります。</p> <p>中学に隣接してるのですから、そこをあえて、別の学校へもって行かなくても、よろしいのでは？</p> <p>CD地区を除いて、いただくか？この原案を廃止していただきたい。</p> <p>もしくは、ABCD地区の全住民へこの原案が反対か賛成かをアンケートをとっていただきたい。</p> <p>子供の心に影を残すような、事をしないでいただきたい。</p>	<p>通学区域の変更区域については、保護者アンケートでは大幅な見直しを望む声もあったことから、検討対象地区をABCDEエリアとしました。小学校のみを考えるとABCDエリアを変更することが望ましいと考えましたが、中学校と同一のエリアでの変更を考えていたため、小・中学校ともにABエリアを変更対象地区としたのが、当初の案です。5月の意見交換会では、見直し後は愛宕地区の小学校が安定的に複数学級になるようにしてほしい、小・中学校では学校規模の格差、学校までの距離関係に差異があることから、切り分けて検討してほしいとの意見がありました。このような意見をふまえて検討したのが計画(原案)です。計画(原案)において、通学区域の変更に伴い、転籍の対象となる児童の保護者に対して行いましたアンケート調査の結果などをふまえて、経過措置のあり方などについて改めて検討し、一部修正しました。</p>
42	<p>【小学校の学区変更についての意見】</p> <p>原案ではC地区は自治会が分断され、わずかな地域のみが東愛宕小学校に行くこととなります。28年度には東愛宕小学校と西愛宕小学校の統合もあり、十分人数が足りているにも拘らず変更となれば、地域との連帯・安全面への配慮が軽んじられてるとしか思えません。規模の適正化も大事ですが(ちなみに本件の場合、C地区の変更がなくとも規模の適正化も満たしている)一番重要なのは言うまでもなく、子供の安全です。</p> <p>※東愛宕小学校で26年度に複数学級にするための人数が足りないというのであれば、それは2年間の経過措置とみるべきです。どうしても複数学級に、というのであれば、28年度の統合を早めるべきです。そうでなければ本末転倒です。</p>	<p>今回の見直しの重要な点が、学校規模の適正化を図るという点です。将来的に、多摩第二小、愛宕地区統合新校の学校規模の平準化を図っていくためには、今回のエリアを変更すべきと考えています。</p> <p>教育委員会で示している推計人数には、今後の住宅建設分は含まれていないため、学区が広い多摩第二小では、さらに児童数が増加する可能性が十分にあると考えています。</p> <p>通学区域が変更となる区域からの通学上の安全確保についても、必要な対策を図っていきます。</p>
<p><b>今回の案におおむね賛成とするもの</b></p>		
3	<p>今日の二小での説明会に出席しました。個人的には今回の原案について、特に反対意見はありません。少しでも早く、二小、東愛宕小の教育の場の環境を整えてほしいと思います。これだけの大きな変更を行うにあたって、皆が円満に可決できる問題だとは思いません。それぞれに多少の妥協は必要だと思います。今回の原案での経過措置、特例措置で対応できるかと思っております。現時点で、二小に在校生がおらず、特にこれから入学する児童が今回の案で東愛宕小に指定されたとしても、それはそれで受け入れるしかないと思います。そこからまた新たに身の周りの環境を築いていくのも、子供達にも良い経験になるのでは？格差を改善し、各学校の環境の平等化を考えていくうえで、皆が協力していく時だと思います。</p> <p>三小区域からも部分的に東愛宕小区域に変更するべきとの意見もありましたが、教育環境が比較的整っている所をあえて、本件の課題に巻き込むことはないと思います。かえって、事態をややこしくするだけです。それこそ、二小、東愛宕小が抱える問題の解決にはならないと思います。</p> <p>ただ、それぞれの保護者の方たちが抱えている不安や質問に丁寧に対応していただける窓口は必要だと思います。</p>	<p>ご意見でいただきましたように、できる限り早期に教育環境を整備していきたいと考えていましたが、保護者の皆さまから多くのご意見をいただき、通学区域の変更に伴う経過措置を一部修正させていただくことになりました。</p> <p>見直しの実施に向け、安心して通学できる学校づくりを進めるとともに、保護者の皆さんの不安を解消できるよう対応していきたいと考えています。</p>

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
14	<p>今、東愛宕小に4年男児と1年女児がいます。本来なら4年のお兄ちゃんは、来年度から西愛宕小と統合…のはずでした。震災の影響で大幅に遅れ、下の妹は少しづつ人数も増えそうですが、4年の兄はこのままのメンバーで、クラス替えもなく過ごさなければいけません。12名という少ないメンバーでの4年目…。もう限界です。特に目立って和を乱す子が2~3名。担任も変わりましたが、クラスの子ほとんどがストレスのはけ口のように、何もあたりさわりのないわが子に、ちょっとのことで責め立て、取り囲み、いじめます。とても居心地の悪い場所になってしまい、最終的には転校するしかなくなるかもしれません。本当に、単クラスで固定化された人間関係はよくありません。少人数の方が目が行き届くともいいますが、少ないにも限度があります。もっと人数がいれば我が子と気の合う、ほんわかした子がいたかもしれないのに…。震災で大変で、統合が後回しになった分、うちの子の学校生活が暗いものとなりました。うちにとっては、今すぐでもとても緊急性の高いことなんです。どうして、こんなにこんなに後回しにするんですか？二小の学区の反対があるようですが、そんな事にはかまっている場合ですか？二小だって、人数が多すぎて先生の目も行き届いていないですよ。とにかく、片方が多すぎて、片方が少なすぎるのだから、人数を丁度よくするのが良いに決まっています。二小の親御さんとしては変わるの嫌なのもわかりますが、そんなことしている場合じゃありません。そこは割りきってどうするのが良いのか、自分の子どもだけでなく、広い視野で考えてみてください。未来を担う子どもたち全体の問題として、2度うちの子のような思いをする子を増やして欲しくありませんから。</p>	<p>震災の影響を受け、通学区の見直しが当初予定していたスケジュールから遅れてしまっていることについては大変申し訳なく思います。全学年単学級である愛宕地区の小学校では、いただきましたご意見のように、単学級の小規模校であるがゆえに、クラス替えができず、固定化された人間関係による児童間のトラブル等の課題を解決するためにも、今回の見直し計画により、できる限り早期にその解消を図りたいと考えています。</p> <p>当然のことながら、多摩第二小の大規模校化による教室数不足等による学校運営の困難さ等もありますので、東西愛宕小・多摩第二小地域全体の課題として捉え、児童・生徒の教育環境の向上を図るべく、変更対象地区の皆さんにも、今回の見直しについてぜひともご理解をいただきたく取り組んでいきます。</p>
<p><b>その他、様々な内容を含むもの</b></p>		
28	<p>・通学区変更に伴う経過措置(案)を東愛宕小と西愛宕小の学校の学校統合(案)の時期に合わせていただきたい。平成28年度とすること。 子供たちの環境の変化は少ないほうが良い。 ・東愛宕小(愛宕地区総合新校)の魅力づくり検討案の進み具合をPRしていただきたい。先の検討案成果がみえるようになってから子供たちを受け入れていただきたい。 ・多摩第三小との統合も含め検討していただきたい。或いは、学校選択性の撤廃。又は、条件付学校希望制の場合、指定校に就学することは原則とすること。</p>	<p>愛宕地区統合新校の魅力を高めるための施策については、できることから順次行っています。進捗状況につきましても、保護者の皆さまにお知らせしていきたいと考えています。</p> <p>学校選択制については、来年度から大きく見直し、指定校に就学することを原則とする「条件付学校希望制」に移行します。</p>
31	<p>多摩第二小学校、東愛宕小学校、西愛宕小学校、和田中学校、東愛宕中学校の通学区の変更、学校統合に関する計画(原案)について、議論・検討をされている関係者の皆様、お疲れ様です。私の子供は和田中学と多摩第二小学校に通っております、今回の変更学区にはたまたま該当していません。(7月14日の和田中学校の説明会には出席しました、参加者が20数名でしたので説明会の存在自体が正しく認知されていない様に思いました)</p> <p>学区変更の噂は以前から聞いておりましたが強制転籍(転校)が発生するという衝撃的な話を知ったのは7月の下旬でした。</p> <p>学校全体の統合という事であれば(これは残念ではあるものの)学友同士が全体での移行となりますが、今回案の該当区域における一部の児童の在籍途中の強制転校は、私は有り得ないと思っています。希望に胸を膨らませた新1年生の児童はこの学校で6年間頑張ろうと決意し、日々就学をしているはずで途中での転校等は夢にも思わず、その家庭も当然同じ思いで有り、転校を自ら望む家庭はいないと思います。また学校に残る側の子供達からすれば、仲の良かったお友達とお別れとなってしまいます。この様な無用な悲しいお別れを大人の都合で発生させてはいけません。今回、教育委員会の地域の説明では5月の時点では在校生は希望により残留できる、というトーンでしたがその後強制転籍の案に変わっています。急な方向転換が有ったため、学区変更の件では強制転籍は無い、と認識したままのご家庭がまだ多い様に思われます。各家庭への正しい情報伝達にかかる時間、その内容を噛み砕いて理解するまでにかかる時間、そして案についての納得できるか否かを判断するまでの時間、これらを考えますと、案の発表から決定までの時間は数ヶ月程度では到底足りません。該当地域の家庭を含め1年以上は議論しつつ、有るべき形を作っていくべき問題ではないでしょうか。とても短期間で具体案が決定できるほど簡単な問題では無いと思いますよ。</p> <p>また小学校同士の距離を考えれば、東愛宕小学校(と西愛宕小学校)に近い多摩市の小学校は別にも有ります。距離的に近い他の小・中学校を何故、今回の学区変更案に含めなかったかについて根本的な説明はあったのでしょうか、有ったにせよ結果的に地域の方々には浸透しておらず不可解です。説明会では参加者から更なる説明を求める声と反対意見しか出ていませんでした。地域住民は未消化のまま、市側は決定だけを急いでいるという印象が否めません。地域の方、特に該当家庭への正しい情報説明と理解が得られていないと思われる状態ですから、案の決定に移行できる状況では無いと思います。現時点では案の決定への移行は凍結、延期する事を強く要望します。これは更なる説明、話し合いが必要に思います。</p> <p>そもそもですが、これは多摩市の一部の学区区域を変更してその場しのぎをする問題では無いのかもしれませんが。先日の説明会では多摩市は東京の他の市に比べると、子供の数に対する学校施設の数がかなり多いという説明がありました。施設維持の経済的負担、各学校の児童数の少数化が進むのなら学校の統廃を進めるという考えもやむを得ず、となるのかもしれませんが。(逆に多摩市に移住する人を増やす運動に力を入れる考えも有りましょうが)学校施設と子供達の今後の未来を考えますと、多摩市市役所、教育委員会、地域の市民が同じ課題を共有する機会を設け、その中で方向性を見出していく必要が有ると思います。</p> <p>多摩市の学校施設の現状と有り方についての市民全体で共通認識するところから始めれば共に負担を分けざるを得ない事も理解できると思うからです。学区内の児童数は年々変わりますから、学区変更は今後も有りえましょう、しかしこれは地域市民の理解を得ながら実行される事が必須です。それだけに地域の方々を受け入れやすい、学区変更時の移行方法をもっともっと研究して欲しいですし、今回で言えば案の掲示から該当家庭の理解度の確認しないままの短期間の決定は避けるべき、転校か残留の選択の自由は必須に、という事が言えると思います。</p> <p>乱文失礼致しました、一意見としてご検討下さい。</p>	<p>説明会の周知につきましては、在校生は学校を通じて全児童・生徒にチラシを配付し、未就学児は対象世帯に個別にチラシを郵送いたしました。</p> <p>いただきましたご意見のとおり、7月の説明会での説明では不足しているとの見解に立ち、9月1日に改めて対象となる保護者の皆さまに対する説明会を行いました。</p> <p>多摩市ではニュータウン区域を中心に児童・生徒数が減少したことを受け、これまでに10校を学校統合により閉校してきた結果、おおむね各コミュニティエリアに1中2小が配置されている状況となりました。したがって、東愛宕小、西愛宕小を統合した後は、当面の間は学校統合は行わない方針です。</p>

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
32	<p>今から書く事は必ず1字1句間違いなく、公表してください。念のためここに書いたものを別途インターネット上に表示保管します。</p> <p>さて現在7月24日パブリックコメント締め切りの1日前、しかし昨日の段階で教育委員会の定例会がおこなわれ、2小対象地域の強制転校で推し進める事が委員会を傍聴した者より、報告があった。ではこのパブリックコメントは何のためにあるのですか？こんな教育委員会の横暴で進める計画について白紙撤回をお願いします。そして、現在決まっている東と西愛宕小学校の統合を先に進め、そこで2小の対象地域の子供たちが行きたくするような学校を作って欲しい。それからの検討でなければましてや西愛宕小より先に、東と2小対象地域が一緒になるというのはおかしい話です。順番がかなり間違っています。以上。</p>	<p>7月23日の教育委員会定例会においては、説明会でのご意見、パブリックコメントの途中経過を受けて、改めて教育委員会の考え方を保護者の皆さんに説明し、アンケート調査等も行った上で判断していく必要があるということが確認されました。パブリックコメントの締め切り前に、最終的な方針が決定されたものではありません。</p>
35	<p>・東愛宕小と西愛宕小を統合しても複数学級にならないのに、統合して学校を残すという結論を出した理由が説明できないのはなぜか。(防災拠点として必要であれば運動場として残しても対応は可能である)</p> <p>・通学区域見直しの前提に三小が入っていないのはなぜか。</p> <p>・学校の一定規模かつ適正配置といいながらも、三小学区の一部(桜ヶ丘周辺)からは、東愛宕小へ通う方が効率的な地域もあるのにそこを見直しの対象としないのはなぜか。</p> <p>・本来、東愛宕小もしくは西愛宕小へ通うべき地域の方が、ほかの小学校に通学している現状を聞くと、その方たちを戻すのがまず必要だと思うがなぜそういう計画をしないのか。</p> <p>・三小・東愛宕小・西愛宕小を統合すると適正な規模になり、通学区のいびつな形も改善されるのにそういった計画をしないのはなぜか。</p> <p>・現在の計画にあるとおり小中の通学区域を同一にしないと、中学校入学時にわざわざこれまでの友達と別れる選択をすることになるが、それを適正と考えている理由がわからない、もっと子どもの身になって考えてほしい。</p> <p>・現状で愛宕地区の児童数が極めて少ない状況も理解しつつも、それを統合しても何ら解決しないのに、その他の地域から学区を変更して児童を集めて統合新校を作ることが前提の今の計画は、本当に適正なのか。</p> <p>・根本からもう一度考え直すところにきていると感じるが、もう一度市民と議論をする場を持つことを考えるべきではないか。</p> <p>・竜小と二小を統合する時の約束(道路整備・地域センターなど)を反故にしておきながら、今回の見直しに当たり、出来る限りのことをやるという絵空事を聞かされても信用できない。</p> <p>・学区の変更は、地域活動にも影響を与える。地域が支える学校づくりを推進していくのであれば、地域に対してもきちんと検討段階から情報を提供すべきで拙速に結論を出すべきことではない。</p> <p>・以上のような不明・疑問・納得のいかない点がこのほかにも多々ある状況で、市民感覚でこの計画が妥当だとはどうしても考えられない。</p> <p>・拙速に結論を出すべきではなく、将来にも影響を大きく与えるため、周辺地域を含めて議論すべきで、通学区域の変更対象地区を二小の学区に限定し、かつあたかも時間切れのような形で半ば強引に決定しようとしている。現在の計画に何ら納得できるところが無いため反対します。</p> <p>・学区見直し等の影響が、すべての方にとって最小限となるような検討を市民参画のもとで行うため継続して話し合いの場を持つことを要望します。</p>	<p>この地区に小学校を存続させるというのは、市民も委員として参画した審議会からの答申を受けてのものであり、尊重していく必要があると考えています。</p> <p>審議会に諮問する以前に、三小も含めて検討しましたが、三小は適正な規模の学校であり、今後も適正規模が維持されていく点、愛宕地区の児童を受け入れる施設的な許容がない点などから、検討の対象からははずしました。</p> <p>また、今回の見直しは中学校も含めた学校規模の適正化を図るものであり、東愛宕中の学区内の小学校のみで見直しを図っても、中学校の規模の適正化は図ることができないという点もあります。</p> <p>CDエリアのお子さんについては、小学校時代の友人とのつながりを考慮し、希望により東愛宕中への就学を希望できるとする特例措置をとります。</p> <p>竜ヶ峰小の統合の際の約束として、中和田通りを拡幅し、歩道を整備し、通学上の安全を確保するというものがあります。これについては、現在も地権者との買収交渉を進め、整備をしているところですが、完了しているのは全体の3割程度となっています。安全確保が図られるまでの間は、バスの定期代を全額補助するとの約束に基づいて、現在も補助を行なっているところです。</p> <p>通学区域を基盤に地域で活動し、青少年の健全育成などの面で児童・生徒を支援いただいている青少協の皆さんには、情報提供、調整を図りながら進めています。</p>
40	<p>□「愛宕小(東、西)を統合しても一定規模に満たない学校となるならば、そして今後児童生徒の増加が見込めないならば、過去の形に遡り、この地域を既存の二小、三小へ取り込むべき」が原則的な考え方ではないか。</p> <p>□そもそも児童生徒の増える地域と減少が止まらない極端な地域が隣りあっている街のあり方は問題である。愛宕地域の街づくりをどうしていくのか何も見えない(やれることはあるのではないか)。</p> <p>□学校と地域の関わり方の視点からも、まさにこの地域は伝統的に二小ともに地域をつくってきた。これまでの祭りや行事など地域コミュニティを分断することになる。</p> <p>□教育委員会の考え方は児童生徒数という数合わせに走っているのではないか。教育とは数合わせなのか。</p> <p>□在学中の児童生徒を編入先の学校へ移動(異動)させることの負担をどうとらえているのか。新入生から対象とすべきではないか。</p> <p>□学校選択制の優れている部分はあるはず、小学校は弊害が多いが中学校は残すべき。そもそも学校も切磋琢磨すべきで、特徴的な学校づくりがあつていいし、それを選びたい生徒がいてもよい。選択制を無くすことで、学校の体質として独占的な弊害(東電みたいな)を助長することになるのでは。</p>	<p>この地区に小学校を存続させるというのは、市民も委員として参画した審議会からの答申を受けてのものであり、尊重していく必要があると考えています。</p> <p>愛宕地区を含めたニュータウン再生の課題は、全市的に取り組むべき重要な課題であると認識しています。</p> <p>今回の見直しは、子どもたちの教育環境を整備していくために、第一に学校規模の適正化を図る必要があると考えたものであり、これを行っていくためには学校と地域との連携、子どもたちの安全確保にも配慮する必要があると考えています。</p> <p>学校選択制については多くの課題があることから見直すこととしましたが、中学校では教育内容によっても指定校以外の学校に就学希望ができるようにしました。</p>

パブリックコメントに対する教育委員会の考え方

No.	意見	教育委員会の考え方
41	<p>時間が経ってコメントが送れませんでした。入力途中の保存もされませんでした。システムの改善をお願いします。今回の問題点は、1. 教育委員会は二小の児童数が多いと説明していますが一小数は東寺方小との通学区域を見直しても多いのに何もしない、2. 東愛宕中学校の評判が悪いことを隠して二小の保護者に反対されないようにしている、3. 説明会での少数意見を主な意見として原案に取り入れている、4. 三小の方が距離的に近いにもかかわらず、三小との合併はしないと決めたのは検討不足、など納得性のない中で進められようとしています。愛宕との通学区域の見直しについては、これまで二小地域は見直しに反対の立場を取ってきました。今回は教育委員会が時間がないということで市民参加なしで決めるとのことですが、各地域の代表者など市民参加で行うべきと考えます。</p> <p>教育委員会が通学区域の見直しが急務と言われておりますが、現在マスコミが連日取り上げている「いじめ」について多摩市教育委員会は何をどのように対応しているのかわかりません。今回の通学区域見直しの対象となっている小学校では、昨年「いじめ」があり当事者の児童が不登校になりました。この問題は未だ解決には至っておりません。このような問題は多摩市の中にもたくさんあると思います。不登校になった子どもたちの受け皿になる学校を設置するようなことは考えられないのでしょうか？このような問題は子どもの数合わせでは解決できません。通学区域の見直しは二小にとって必要なのではなく、少人数の愛宕地区の子どもにとって必要なものと思います。その意味は理解できますが、しかし、そのために二小の子どもたちが評判の悪い学校に行くようになることは、保護者の立場では絶対に賛成できるものではありません。まずは、東愛宕中学校の問題を解決し安心していける学校にすることを最優先し二小の保護者に説明できるようにしてから通学区域の変更をすべきと考えます。</p>	<p>システムの不具合については、担当課にお伝えします。</p> <p>多摩第一小をさらに見直すことをしないのだから、多摩第二小も見直す必要がないということは、教育委員会では考えていません。多摩第二小には見直すべき対象校があるために、必要な見直しをしていきたいと考えています。</p> <p>東愛宕中が評判が悪い学校であるとの認識を持っていません。少数ではあっても、教育環境を向上させるための意見として取り上げるべき必要性が高い意見であったと考えています。</p> <p>審議前に諮問する以前に、三小も含めて検討しましたが、三小は適正な規模の学校であり、今後も適正規模が維持されていく点、愛宕地区の児童を受け入れる施設的な許容がない点などから、検討の対象からははずしました。また、今回の見直しは中学校も含めた学校規模の適正化を図るものであり、東愛宕中の学区内の小学校のみで見直しを図っても、中学校の規模の適正化は図ることができないという点もあります。</p> <p>現在、対象となっている小学校の児童に、不登校児は存在しません。単学級であるがために、児童間のトラブルを学級を分けるという方法で解決できず、やむを得ず他校に転校させることで解決したという例があります。このような問題は、まさに小規模校、単学級の学校であるがために生じる問題であり、これを解決していくためにも、学校規模の適正化を図る必要があると考えています。また、多摩第二小のような大きな規模の学校にも課題があるということについては、先日の保護者説明会で校長から説明がありましたように、安全面、健康面、行事などの運営面、学習面などで課題があると考えています。</p>
46	<p><b>通学区変更の時期について</b></p> <p>今までの経緯から、東愛宕小・西愛宕小の統合が先にこななくてはならないと考えます。従前の28年4月の両小学校の統合時期は決められているので動かせない、という事務局の説明であるなら、突然の26年4月の二小の一部通学変更は認められない。全くの突然の時期の受入れは出来ない。対象となる二小の児童の中には「私立中学の受験をする」と言い出す児童も出ています。6年生の今の時期から急に私立中学の受験など間に合う訳がありません。6年生の児童がこんなに心を痛めていることを教育委員、清水教育長、教育委員会事務局の皆様は理解できますか。通学区の変更はもっと時間の余裕をとらなくてはいけないことだと思います。学校の新設時期とは全く関係ありません。今までの教育委員、教育長、教育委員会事務局の無策を児童に押し付けるとはとんでもない事です。地域の力を重要と考えていらっしゃる阿部市長が、こんな期間のない通学区域変更案を認めるとは思いませんが、時期は28年4月以降の29年4月又は30年4月が適当だと思います。</p> <p><b>通学区変更の区域について</b></p> <p>以前から二小の通学区の変更をするなら、東愛宕小と西愛宕小との統合校に野猿街道から南を全て転籍を要すると聞いていました。それからすると、今回のA BCDはもの足りません。加えてEと和田作公園の北側の東西道路を和田中通りまでで区切る線引きとする地域としてください。事務局の二小地区はまだ住宅ができるとの予想でありますから、より広い地区を含む変更が必要です。今のままでは、兄弟要件等いろいろの特例を用いると東愛宕小が全学年単学級になると考えられます。多摩市の適正規模の小学校規模は絶対に守っていただかなければ困ります。又、この先再度の通学区の変更等があってははいけませんので、今回の通学区の変更で思いきった広い範囲の変更を望みます。大勢の児童がいた二小から単学級の学校に行かせるなんて事は、絶対考えられません。</p> <p>変更地区の生徒が、和田中、愛宕中の両方を選べますというのもおかしい。160人の定員まで選べるとすると和田中の生徒は、常に40人クラスで先生も生徒も負担が大変であると思うので、選択制も反対です。</p> <p>* 決定したことのようにですが、一小的通学区の問題で、一ノ宮一丁目二丁目が特例地区として、一小と東寺方小のどちらにも自由に選べるとしたことも、全くおかしいことと思います。</p>	<p><b>通学区域変更の区域について</b></p> <p>今回、初めて教育委員会としての計案をお示したものであり、それ以前には案を作成した経緯はありません。</p> <p>計画策定にあたって最も重要なことは学校規模の適正化であると考えていますが、同時に、学校と地域との連携、子どもたちの安全確保についても配慮しなければならぬと考えています。ご提案いただいた案につきましては、実現が難しいと考えます。</p> <p>中学校については、本来、小学校と通学区域を合わせる事が望ましいと考えますが、すべてを一致させることが難しいことから、今回のような特例措置をとるものであり、両方を選択することができるというものではありません。</p> <p>一ノ宮1・2丁目も同様に、どちらでも選択できるというのではなく、基本は東寺方小の学区に変更しますが、市内で唯一踏切を横断する通学路となることを考慮して、希望により多摩第一小にも就学することができるとしたものです。</p>